

(外交防衛委員会)

在外公館の名称及び位置並びに在外公館に勤務する外務公務員の給与に関する法律の一部を改

正する法律案（閣法第一八号）（衆議院送付）要旨

本法律案の主な内容は次のとおりである。

一、在セブ日本国総領事館を新設するとともに、同総領事館に勤務する外務公務員の在勤基本手当の基準額を定める。

二、在マケドニア旧ユーゴスラビア共和国日本国大使館の名称及び位置の国名を改める。

三、在カザフスタン日本国大使館の位置の地名を改める。

四、既設の在外公館に勤務する外務公務員の在勤基本手当の基準額を改定する。

五、この法律は、令和二年四月一日から施行する。ただし、在セブ日本国総領事館に関する部分は、政令で定める日から施行する。